

平成26年12月定例教育委員会会議録

日 時	平成26年12月19日（金） 午後2時30分～午後4時15分
場 所	秦野市役所西庁舎3階会議室
出席委員	委員長 望月 國男 委員長職務代理者 高橋 照江 委員 飯田 文宏 委員 内田 晴久 教育長 内田 賢司
欠席委員	なし
委員以外 の出席者	教育部長 水野 和成 図書館館長 石井 勇次 教育部参事 小山田幸弘 公民館担当課長 井手 則夫 教育総務課長 山口 均 こども育成課長 曾我 明正 学校教育課長 片野 新治 教育総務課課長補佐（庶務担当） 鈴木 利昭 教育指導課長兼 教育総務課庶務班主任主事 小泉 祐介 教育研究所長 柏木 荘一
傍聴者	なし
会議次第	<h3>12月定例教育委員会会議</h3> <p>日 時 平成26年12月19日（金） 午後2時30分</p> <p>場 所 秦野市役所西庁舎3階会議室</p> <p style="text-align: center;">次 第</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 会議録の承認 3 教育長報告及び提案 <ol style="list-style-type: none"> (1) 平成27年1月の開催行事等について (2) 平成26年第4回定例会報告について (3) 臨時代理の報告について <ol style="list-style-type: none"> ア 報告第15号 秦野市立西中学校等複合施設整備運営事業に係る企画提案型事業審査会規則について (4) 平成26年度優良PTA神奈川県教育委員会表彰の受賞等について (5) 西中学校体育館等複合化事業について (6) 学校給食における異物混入について (7) 学校におけるインフルエンザの状況について (8) 第30回のびゆくみんなの交流会の結果について

	<p>(9) 第27回はだの子ども野外造形展の結果について</p> <p>(10) 第27回インターナショナルフェスティバルの結果について</p> <p>(11) コミュニティ・スクールについて</p> <p>(12) 第4回いじめを考える児童・生徒委員会の結果について</p> <p>(13) 秦野市いじめ防止基本方針について</p> <p>(14) 平成27年度全国学力学習状況調査について</p> <p>(15) 子どもの事件・事故等について</p> <p>(16) 平成26年度はだのっ子アワード表彰式について</p> <p>(17) 報徳仕法啓発事業について</p> <p>(18) 市所蔵浮世絵展「おめでた尽くしの浮世絵」について</p> <p>(19) 第41回親と子の音楽会について</p> <p>4 協議事項</p> <p>(1) 平成27年度秦野市一般会計予算（教育費）編成について</p> <p>5 その他</p> <p>(1) 行政視察の報告について</p> <p>(2) チャレンジ・イングリッシュキャンプの結果について</p> <p>6 閉 会</p>
会議資料	別紙のとおり

望月委員長

それでは、ただいまから12月の定例教育委員会会議を開催いたします。

お手元の会議次第に沿って進めさせていただきます。

まず、「2 会議録の承認」について、ご意見、ご質問等がございましたらお願いいたします。

また、秘密会につきましては、ご意見、ご質問等がある場合は、会議終了後、事務局に申し出てください。

よろしいですか。

—特になし—

望月委員長

それでは、ないようですので、会議録を承認します。

次に、「3 教育長報告及び提案」の「(5) 西中学校体育館等複合化事業について」及び「(15) 子どもの事件・事故等について」は、非公開情報等が含まれますので秘密会としてよろしいでしょうか。

—異議なし—

望月委員長

よって、「(5) 西中学校体育館等複合化事業について」及び「(15) 子どもの事件・事故等について」は、秘密会といたします。

教育長

資料No.1をご覧いただきたいと思います。

平成27年1月の開催行事等でございます。

1月3日から11日まで市所蔵浮世絵展「おめでた尽くしの浮世絵」が宮永岳彦記念美術館市民ギャラリーにて開催されます。

1月8日は、各幼・小・中学校の始業式です。

1月9日は、定例記者会見です。

1月13日、27日は、保健福祉センターで定例のブックスタート事業でございます。

1月14日は、第5回の園長・校長会を保健福祉センターで行います。

1月15日は、大人のためのおはなし会を図書館で行います。

1月16日は、1月定例教育委員会会議でございます。

1月17日は、午前9時30分から、秦野市教育委員会教育長表彰式、午後1時から秦野市教育功労者等表彰式をいずれも総合体育館武道場にて行います。

次のページを見ていただきまして、先程と続きまして午後3時から、平成26年度はだのっ子アワード表彰式を総合体育館サブアリーナにて行います。

1月18日は、第41回親と子の音楽会を文化会館大ホールにて行います。

1月23日は、神奈川県公民館連絡協議会第56回公民館大会が山北町にて行われます。西公民館が表彰を受けることとなっています。

1月24日は、平成26年度第6回秦野市PTA大会を本町公民館にて行います。

1月25日は、平成27年度新入学外国人保護者説明会を保健福祉センターで開催します。

1月27日は、文化財防火デーに合わせて、第61回文化財防火デー関連行事を下大槻建速神社にて行います。

1月29日は、渋沢小学校の学校訪問でございます。

次からは、各課長から説明をさせます。

それでは、資料No.2をご覧いただきたいと思っております。

平成26年の第4回市議会定例会が、本日午前中終了しましたので、ご報告をさせていただきたいと思っております。

今議会には、常任委員会の審査で教育委員会が関係するものとして、「平26陳情第7号 秦野市で中学校完全給食実施を求め陳情」が第2回定例会で継続審査となっておりますので、その審査を文教福祉常任委員会の中で行いました。

1ページをご覧いただきたいと思っております。一般質問でございま

す。20人の方が登壇されまして、うち教育委員会に係る質問は11人からご質問がございました。主だったものを報告させていただきたいと思います。

まず、小菅議員から、市制60周年記念事業についての中で、道祖神めぐりができるようなマップを作成してはどうかと質問がありましたが、こちらは、生涯学習課文化財班が関係しますので私から今後の参考にさせていただく旨の答弁をさせていただきました。

次に、八尋議員から、中学校給食について質問がございました。これまでの検討会の検討結果、結果に伴う教育委員会の判断、判断に伴うICT化の取り組み内容という質問でございました。始めに私から答弁いたしました。最終的に市長から答弁いたしました。アンケート結果は現状維持を望む声が多いということ。踏まえる中で、ICT化などの課題を優先して取り組んでいきたいと考える。新たに多額の経費が必要となる完全給食は、優先されるべき教育課題等の対応状況や市の財政状況を踏まえ、長期的な視点で検討していきたいと答弁させていただきました。

次に、村上議員から、上地区の活性化計画についてという中で、定住促進に結びつく動機づけとなる特色ある自然体感教育の導入を考えたかどうかという質問でございました。上地区の特色を生かした教育活動の推進をしていき、ICT活用教育に力を入れ、子どもたちによって世界に向けて発信できるような環境づくりを進めていきたいと答弁いたしました。

次に、佐藤文昭議員から、不登校の対応についてと中学校給食の実施についての質問がございました。不登校の対応については、現状と対応について答弁させていただきました。中学校給食については、食育の取り組み、アンケート結果への対応、保護者へのアンケートを行わなかったのはなぜかとの質問があり、完全給食実施には、多額の経費が必要となるので、保護者には限定せず、広く市民にアンケートを実施したものであると答弁させていただきました。

次に、吉村議員から、中学校卒業後もひきこもりが続く生徒に対し、追跡調査は実施したのかと質問がございました。プライバシー保護の観点から、進路先との観点の中で考えていきたいと答弁いたしました。

次に、和田議員から、教職員の多忙化の解消に向けた状況、給食費の公会計化の考えはどうかとの質問がありました。

学校現場の勤務実態の状況を適切に把握するとともに教職員の

教育総務課長

負担軽減を図り、働きやすい環境づくりに努めたい。また、公会計については、学校のICT化を進める中で、すでに導入している自治体の情報収集をして、メリット、デメリットなどについて研究していく旨を答弁いたしました。

次に、折口議員から、スマホの所持率、ゲーム等の時間はどのくらいかとの質問がありました。

学力学習状況調査のアンケート結果を答弁いたしました。

次に、阿蘇議員から、青少年の課題の中で、児童虐待、いじめ・暴力、不登校についての質問がありました。

教職員の意識向上を図り、学校、行政、家庭、地域が一体となって取り組んでいきたいと答弁いたしました。

次に、佐藤敦議員から、西中学校体育館等複合化事業の計画には、消防西分署を加えた経過はどのようなか。また、整備費を20億円と言っているが検討経過はどのようなか。さらに、DBO方式にした理由はどのようなかとの質問がありました。

市全体で取り組んでいくと答弁いたしました。

次に、高橋照雄議員から、いのちを守る施策の中で、児童虐待やいじめ防止施策についての質問がありました。いじめの要因、その対策についてはどのようなかとの質問がありました。

いじめ防止基本方針の策定等について答弁いたしました。

一般質問は以上でございます。

次に、常任委員会での陳情でございます。審議をしていただきまして、この平26陳情第7号秦野市で中学校完全給食実施を求める陳情については継続審査となりました。

以上でございます。

臨時代理の報告について、資料No.3-1をご覧くださいと思います。「報告第15号 秦野市西中学校等複合施設整備運営事業に係る企画提案型事業審査会規則について」を報告いたします。

秦野市教育委員会教育長に対する事務委任及び臨時代理に関する規則第4条第1項の規定により、平成26年12月9日に教育長において、臨時代理いたしましたものでございます。

この規則につきましては、事業を進めております西中学校複合施設の整備にあたっての選定方法として、従来の入札方式ではなく、事業者のアイデアや創意工夫など価格以外のものを含めて審査していくプロポーザル方式を採用しますので、そのための審査会を設置する規則でございます。

9月に制定した秦野市附属機関の設置等に関する条例の中に企

画提案型事業審査が設置できる規程があります。通常の審査会や審議会は、一つひとつ条例の中に位置づけをしていくのですが、企画提案型のものは多種多様なものが出てくるものですから、ひとまとめに条例に位置づけて、詳細については附則で定めるとされていますのでこのことに従いまして企画提案型の事業審査化をするものでございます。

条例では委員を10名以内としていますので、第3条に9名の委員で、内容的には、学識経験者5名、本市の職員4名で組織いたします。事業者の選定など非公開情報を含みますので、会議については非公開といたします。

次に、資料3-2でございます。まず、平成26年度優良PTA神奈川県教育委員会表彰を南幼稚園PTAが、受賞しました。他のPTAの模範となるということで、県庁で11月14日に表彰式がございました。全体で43団体が受賞いたしまして、そのうち幼稚園の受賞は本市のみとなります。

また、平成26年度神奈川県優秀授業実践教員表彰を鶴巻中学校の後小路大志教諭が受賞しました。教職経験10年未満または35歳未満が対象でありました第二部門で授業向上のための教材の研究やその活用についての研究に積極的に取り組み、他の教員の模範となっているということで、県庁で11月20日に表彰式がございました。全体で14名が受賞いたしまして、そのうち中学校の受賞は4名ございました。

以上でございます。

学校教育課長

資料No.5 学校給食における異物混入についてと資料No.6 学校におけるインフルエンザの状況について説明いたします。

まず、資料No.5をご覧ください。

事前に各教育委員にはご報告させていただきましたが、12月5日に鶴巻小学校の給食において、献立の野菜スープ煮の中に、直径0.8ミリ、長さ10ミリ程度の針金が混入していました。6年生の男子児童が食べている際に、口に当たって気づき吐き出したため、健康被害はありませんでした。なお、給食は、委託業者が作っており、給食室内のすべての調理器具を調べた結果、金網ざるの一部が欠損しており、その部分であることがわかりました。

対応といたしましては、学校長から児童の保護者へ状況説明とお詫びをしまして、PTA会長へ状況報告の通知。教育委員会から教育委員、市長ほか市長部局、市議会への状況報告、また報道機関へ状況提供。委託業者から教育委員会への状況報告、あわせ

て教育委員会から委託業者へ注意。さらに、各小学校へ調理器具等の使用前後の複数による点検の徹底についての通知をしました。

次に、資料No.6をご覧ください。

11月19日に南小学校で学級閉鎖が最初でありまして、本日まで、幼稚園で学年閉鎖が8学年、学級閉鎖が1学級、小学校で学級閉鎖が19学級ございました。

昨年、学級閉鎖が最初にあったのは、1月20日ですから、2か月ほど早く流行しています。学校医によりますと今後ある程度流行は進みまして、冬休みに入れば一旦収束しまして、ピークは、1月下旬から2月上旬になるのではないかとということです。

以上でございます。

私からは、資料No.7から資料No.13まで説明いたします。

まず、資料No.7第30回のびゆくみんなの交流会の結果についてをご覧ください。11月14日に開催し、秦野総合高校の生徒200名のお手伝い、また、小中学校の養護教諭が順番にあたっておりますが、今年から、健康子育て課の保健師2名に協力いただきました。裏面をご覧ください。課題ですが、858名の多数の方に参加いただきましたが、進行の遅れが若干ありましたが、秦野総合高校の参加により、交流を深めることができました。

次に、資料No.8をご覧ください。第27回はだのこども野外造形展の結果についてです。作品の搬入展示を10月31日に行い、11月1日より開催いたしました。参加は、42園・校で、作品数は、3,779点でした。成果と課題ですが、地域の園校で協力し校種を越えて同じテーマで取り組み、工夫がなされていきました。また、子どもたちの造形活動に取り組む様子が、作品を通じて市民に伝わるよい機会となったのではないかと考えています。

次に、資料No.9をご覧ください。第27回インターナショナルフェスティバルの開催結果についてです。今回は、総勢200名参加されまして、第1部では、英語スピーチコンテストの上位入賞者による英語スピーチ。第2部では、外国人ゲストと小中学生との交流を図りました。英語に関する興味関心が高まるとともに外国人との触れ合いがあり、当初の目的が達成されたのではないかと思います。

次に、資料No.10をご覧ください。コミュニティ・スクールについてです。今後のスケジュールですが、今年度中に小中学校校長会で情報提供させていただきました。今現在は希望校の集約をしております。年度内にはコミュニティ・スクールの研究指定校

について決定する予定です。なお、研究指定校については、決定後、来年度になりますが、文科省からの国庫補助を受けて取り組む予定でありますが、27年度教育委員会では、学校運営協議会の規則の制定、学校では、コミュニティ・スクールについての学習会、また研修会、地域への説明会を随時開催していきます。27年12月末に学校より協議会委員の推薦を委員会に頂きたいと思っております。委員につきましては、15名以内で、地域代表の方、保護者代表の方、校長、教員で構成することを予定しております。27年度内に協議会委員の任命、第1回、第2回の協議会を開催し、28年度の学校運営方針を承認していただき、新年度から本格実施の予定でいます。初めての取り組みですので、不安でございますが、秦野市の取り組みの一步として進めていきます。スケジュールも実際に取り組む課程の中で、変更が生じる場合がございますので、研究指定校と相談しながら進めていきたいと考えております。

次に、資料No.11をご覧ください。第4回いじめを考える児童生徒委員会の結果についてです。11月15日に開催し、主な取り組みといたしましては、9中学校区それぞれの地区ごとで、いじめに対する標語を作り、その中でいいものをひとつ選び秦野市の標語としようということがございます。シンボルマークをそれぞれ地区の思いで作ろうということで作成しました。裏面ご覧ください。各地区からあがってきた標語がございます。「未然防止」「早期発見」「早期対応」の3点を決めさせていただきました。また、シンボルマークについては、今現在、細かい修正を加えているところです。

次に、資料No.12-1をご覧ください。秦野市いじめ防止基本方針についてです。いじめを考える児童生徒委員会での意見(案)、秦野市いじめ基本方針(案)を配付させていただきました。今年度3月末の段階で、各教育委員の意見をいただきまして、骨子を完成させたいと思います。いじめを考える児童生徒委員会において、子どもたちからの意見などを秦野市いじめ基本方針に盛り込んでいく予定です。インデックスの部分で、法と書いてあるのが昨年9月施行されました、いじめ防止対策推進法、これが大元になる法律です。この法に関しましては、文科省が出さなければならない。各小中学校も出さなければならない。地方公共団体については、出すように努めなければならない。なお、秦野市が基本方針を作るにあたりましては、法律に基づき、神奈川県が作成した神奈川県いじめ防止基本方針の流れに沿うような形で作成させ

ていただいております。基本方針でございます、5番でございます。いじめを考える児童生徒委員会からの提言、これは、児童生徒としての取り組みということに変えまして、2番の中に取り込んでおります。6のはだの子ども人権宣言は、平成9年に出されたものですが、秦野市いじめ防止基本方針の冒頭に大きく取り上げてございます。いじめ防止対策推進法に書かれている内容を細かく反映できるような形で作成しています。まず、秦野市のいじめ防止基本方針に関しまして、策定については今年度中、今後の流れにつきましましては、2月にパブコメ、広く意見を求めながら、また、教育委員の考えや意見を反映させ、3月の教育委員会会議で決定となるよう進めていきたいと思っております。保護者や地域に関する協力など市P連への意見聴取、自治会連合会長の意見聴取も考えております。本日は、このいじめ防止基本方針を読んでいただきまして、ご意見いただき修正しましたものを次回の教育委員会会議で提出したいと思っております。その後、パブコメという流れで行きたいと思っております。意見は1月9日までにいただければと思っております。

次に、資料No.12—2をご覧ください。平成27年度全国学力学習状況調査についてでございます。12月17日付で中教育事務所から依頼が届きました。報告期限が、1月6日までとなっておりますので本日提出させていただきました。過去の状況を鑑みて参加の方向で考えていきたいと思っておりますが、参加については学校の設置者が判断することとなっております。平成27年度全国学力学習状況調査に実施についてをご覧ください。26年度との変更点ですが、3点ございます。本調査の実施に係る職務権限は教育委員会にあることをより一層明確化。実施要領の誤った解釈がなされないよう記載内容をより一層明確化。平成27年度調査の教科に関する調査に、国語、算数、数学に加えて理科を実施いたします。3年に1回程度実施いたしますので、24年度に、理科を実施しております。

次に、資料No.13をご覧ください。平成26年度はだのっ子アワード表彰式についてでございます。1月17日にございまして、ふるさと検定部門は15名、文芸部門は24名、内訳小学生が17名、中学生が7名となっております。体験活動部門は、7地区すべてを制覇したものでございます。こちらは3名います。今回該当者がいませんでした部門に関しましては、徒歩で3地区をめぐるのは難しいということなので、来年度は取れるような工夫をしていければと考えております。

公民館担当課長

以上でございます。

私からは、資料No.14から資料No.16まで説明いたします。

まず、資料No.14、報徳仕法啓発事業の開催結果についてをご覧ください。

報徳仕法の講演会を11月8日に本町公民館大会議室で講演会事例紹介を出雲大社相模分詞分詞長の草山清和氏、講演会を大日本報徳社社長榛村純一氏を招きまして開催しました。

11月28日から29日にかけて、全国報徳サミット真岡市大会市民参加バスツアーを開催いたしました。参加者は、高橋教育委員をはじめ、社会教育委員など参加者は30人でした。ツアーとは別に、市長、教育長にも参加いただきました。28日には、桜町陣屋跡、報徳資料館などを巡り、29日には、真岡市民会館で開催された全国報徳サミットに参加しました。パネルディスカッションなどを通じて、報徳思想を学びました。次回の開催につきましては、27年10月10日に北海道豊頃町にて開催されることが決定いたしました。

次に、資料No.15、「おめでた尽くしの浮世絵について」をご覧ください。宮永岳彦記念美術館で、平成10年に大津圓子氏から寄贈を受けた約1,900点を平成16年から定期的に開催しています。今回は、市制施行60周年を迎えることから、広重、北斎などの約45点の作品を展示いたします。

最後に、資料No.16、「第41回親と子の音楽会について」をご覧ください。この音楽会は、音楽を通じて、親子や地域の絆を深めることを目的に昭和49年から開催しています。今年度も出演団体を募り、様々なジャンルの音楽を通じて、家庭・地域とのふれあいを育み、豊かな心を創造する機会となるよう取り組み、1月18日午後1時から文化会館大ホールにて、14団体が参加する予定です。

以上でございます。

望月委員長

ありがとうございました。

それでは、幾つかあるのですが、「(11)コミュニティスクールについて」と「(13)秦野市いじめ基本方針について」は、学習会の場を開いていただきたいのですがいかがでしょうか。

教育指導課長

今年、学習会は一度持たせていただいて、骨子を見ていただいておりますが、あと見ていただきたいのは、子どもを考える児童生徒委員会。具体的に言いますと、秦野市いじめ防止基本方針(案)の10ページの(3)児童・生徒としての取組をもとに作成しているのでここを中心に見ていただければと思います。

望月委員長

「(13) 秦野市いじめ基本方針について」は、秦野らしさを出さないといけないと思います。私たちもそのことを踏まえて熟読させていただきたいと思います。県の動向を見ると厚木市が小2と中1、海老名市は、全小学校が、委員会を組織して再来年に向けて動いています。

それでは、(2) 定例会報告一つに絞り、(3) から(10) まで、(11) から(19) までと区分して行いたいと思います。

まず、(2) 平成26年第4回定例会報告についての中で、村上茂議員が質問された上地区活性化計画についてはどのような内容だったのでしょうか。

教育長

上地区の調整区域に、住宅を建てられる制度を作って、実際に定住された方が、2世帯あったのですが、市外から定住された方ではありませんでした。定住していただくには、子どもたちに、環境の良いところで勉強してもらおうということをきっかけに定住してもらったらどうかということが背景にありました。その他にも、特色のある計画を外に発信して人を集めるよう考えてほしいという内容でありました。

広島県熊野町では、書道で特異な事業をしていますが、そのような特化した事業を行うなどしています。

望月委員長

ありがとうございました。

(3) から(10) までではいかがでしょうか。

教育長

(8) 第30回のびゆくみんなの交流会の関係ですが、幼稚園の保護者等が集まっているいろいろな競技をし、私も毎年その場であいさつするのですが、綱引きが終わったあと一人の保護者の方が倒れ、心肺停止になってしまいました。その場に看護師がいてすぐに蘇生をして、東海大のドクターヘリで運ばれ助かりました。原因はよくわからないのですが、現在は通常の生活に戻っているそうです。その救助をしてくれた方たちを消防長が表彰することになりました。

望月委員長
内田委員

ほかにいかがでしょうか。

資料3-2でお聞きしたいのですが、学校の先生やPTAの方々が表彰を受けることは喜ばしいことですが、この具体的な取り組みをほかの方たちに情報提供などしたりするのでしょうか。

教育指導課長

後小路先生の授業については、研究所の来年度の発表会で紹介し、広めていく予定です。

教育長

県教委から、対象の教職経験10年未満又は35歳未満で優秀な事業実績をされている方がいるかどうか問い合わせがあり、参事が学校に確認し、推薦をします。このほかに、35歳以上のベ

望月委員長

テランの分野もありますが今回、この対象はありませんでした。

野外造形展ですが、小中一貫教育という視点に立って、各中学校区に共通テーマを作って取り組むことを実行委員会の中でなげかけてほしいと思います。

インターナショナルフェスティバルは、外国人の参加も多かったし、スピーチも大変上達しているのがわかりました。教育委員会など関係者各位がご尽力されていることを確認できました。

(12) から (19) まででいかがでしょうか。

教育長

報徳サミットの関係ですが、来年は北海道豊頃町で開催することが決定しています。10月9日から11日まで予定をさせていただきますようお願いいたします。議会、社会教育委員、JAなどに参加を呼びかける予定です。

望月委員長

次に、協議事項(1)平成27年度秦野市一般会計予算(教育費)編成についてお願いいたします。

教育総務課長

全体的な流れについて説明させていただきます。

1から5までについては、現在の教育プランに基本方針の部分でございます。6については、60周年記念事業のことでございます。

1(1)では、しぶさわ幼稚園のこども園化、特別支援教育の充実、28年度から新しい教育プランを策定いたしますので、その取り組みを行っていきますという内容でございます。(2)では計画的な改修、小学校への防犯カメラの設置などです。(3)は、小学校の教科書採択替え等についてでございます。

2(1)では、「秦野市いじめ防止基本方針」に基づき、「いじめゼロ」に向かって取り組みをしていく。(2)に関しては、不登校対策の早期対応のために臨床心理士を学校に派遣や在宅学習の支援の拡充、(3)では、「はだのっ子アワード」の推進でございます。

3では、幼小中の一貫教育の推進を踏まえ、(1)小学校高学年の強化担当制を推進、(2)学校のICTの中で、公務支援ソフトの導入など学習意欲の向上を図ります。(3)通常学級に在籍する個別に支援を必要とする子どもの支援の充実を図り、(4)コミュニティスクール導入に向けて、研究指定校による実践研究を行います。

4の生涯学習の推進では、(1)次期生涯学習推進計画の策定に取り組み、(2)公民館活動の充実を図るとともに、老朽化施設整備等の計画的な改修、(3)桜土手古墳展示館の環境整備を行っていきます。

5 (1) 魅力ある図書館づくりに努め、地域の情報拠点としての役割を果たし、(2) 読み聞かせボランティアの育成とともに読書に親しむ機会づくりに取り組んでいきます。

6は、60周年記念事業といたしまして、(1) 市内13小学校で人文字を作成して航空写真で撮影、子どもを議員に任命し、子ども議会を開催します。(2) 生涯学習の関係ですが、大津雲山作品展の開催や記念講演会を開催し、生涯学習活動の充実を図っていきます。以上このことに基づきまして新年度予算を編成していきます。

次に、12月19日現在の予算の要求の取りまとめになります。この表では、26年度の要求額と比べまして、約4億円18.7%増額となっております。しかし、26年度の当初予算は、国庫補助を受けた学校改修、特に空調が約12億円かかりましたが、この額が25年度の補正の中に含まれていて、26年度には入っておりません。実際は、その額を26年度に加えると27年度は、約8億円減となります。

右側の一般財源のうちの業務運営費とは、建設事業費や職員給与費などを除いたものです。その合計は、約6500万増ということになります。

その後、財政課が精査しましての査定が来るという流れでございます。教育総務課においては、27.5%増、2億4千万ほど増えています。建設事業の関係でございます。学校教育課につきましては、小学校の新しい教科書や給食施設の改修、研究所は、学習支援等、生涯学習課は、公民館の改修工事でございます。

内田委員

主な取り組みの部分で、しぶさわ幼稚園のこども園化がありました。西中学校の複合化施設の取り組みの記載はしないのでしょうか。

教育総務課長

また、先日、福井県と石川県へ学力向上についての視察をさせていただきましたが、言葉をどこかに記載したらいかがでしょうか。

望月委員長

西中学校複合化施設の取り組みは、27年度予算規模から記載していないということでございます。学力向上は、載せていきたいと思っております。

話変わりますが、学び合いもいろいろあって、仲間同士の学び合い、ベテランの先生と若い先生の学び合い、中間管理職と校長、教頭との学び合いという文化が学校にありましたが、学び合う学校文化ということは非常に大切なのではないかと思います。

3(4)で、歩む学校づくりとありますが、文科省は、現在、

教育指導課長

歩むと使っておりません。地域とともにある学校づくりという言葉になっています。

それでは、その他1の行政視察に入りたいと思います。

その他1をご覧ください。1から6（1）までは、この資料をご覧くださいいただければと思います。

3ページの6（2）の今後の取り組みについてで、なぜこのような取り組みができるのでしょうかという質問の中で、地域や家庭にどのにかかわりが古くからあり、例えばテレビやゲームの時間は家庭の力で規制ができるようです。①各校学力向上担当者との連携の中で、全学校、全教職員と情報が共有できていない状況で各校に任せているとのことでした。秦野では、どうしたら共有できるのか、学力向上について考える研修をするようなシステムを作っていきたいと思います。

②全国学力学習状況調査の有効活用ということで、4月にテストをして、11月に結果が返ってくるまで、何もしていない状況です。結果が返ってきて分析している。視察した小松市では、終わり次第コピーを取って、全職員で採点をして分析をして在籍中に力をつけさせてあげたいということで取り組んでいるそうです。そういったことについても学力向上検討委員会において探っていきたいと考えています。

以上です。

望月委員長

次に、その他2平成26年度チャレンジングリッシュキャンプの実施結果についてをお願いいたします。

こども育成課長

平成26年度チャレンジング・イングリッシュ・キャンプの実施結果を報告させていただきます。その他2の資料をご覧くださいと思います。

本事業は、小学5年生から英語の事業を始めたことを契機に、平成23年度から開始し、今年度は4回目の開催となりました。目的ですが、単に会話の上達を目指すものではなく、英語でのコミュニケーションをとるための素地づくりを念頭に、クイズ、ゲーム、レクリエーション、夕食づくりや食事を通して、英語でのコミュニケーションが楽しいものと思えるようになってもらうことです。そして、将来の中学校における英語学習への意欲を育てるよう意を注ぎました。

会場は、本市の公共施設の中で唯一の宿泊施設である「表丹沢野外活動センター」でございます。実施日につきましては、昨年度11月23日、24日でしたが、今回、上智大学側から、その日近辺が短大から4年制への編入試験にあたるため、日程が厳し

いとこのことで日程をずらさざるを得ず、施設の空き状況や当課のスケジュールなどを調整した結果、12月13日、14日となったものです。

内容については、初回のように全部を上智大学側にお願いするのではなく、1日目をALTが担当し、2日目を上智大学が担当する方法が好評だったため、この方法といたしました。これにより、内容の充実度をより高め、参加者に多くの楽しいプログラムを体験してもらうことができるようになったと思っております。

具体的には、資料をご覧いただきたいのですが、1日目にALTによる各種プログラム、その後ALTを含む全員での夕食づくり（ピザ、ローストチキン、コーンスープ、サラダ、ケーキ）、キャンドル・ファイヤーと続き、夜9時にはALTと名残惜しいお別れといった内容でした。

2日目は、上智大学短期大学部による2つのアクティビティをお願いしました。全体を大きく2つに分け、1つのグループは、活動等での大縄跳びなど体を動かす活動をし、別のグループが、展示室を使い、フォトフレーム及びクリスマスカード作りのクラフト活動をいずれも、英語活動を使って活動しました。

募集人員につきましては、ALT1人に対し、子どもが5人がふさわしいのではないかとの考えを今回も踏襲し、10グループ、つまり50人を募集定員とすることといたしました。応募があったのは、46人で、当日キャンセルが5人出たので、最終的な参加者は、41人でありました。ALT1名に対して、子どもが4人という体制となりました。

平成23年度の第1回目は、18人（全員が女子）、第2回目の一昨年は、37人（男子2人、女子35人）、第3回目の昨年度は、51人（男子21人、女子30人）でしたが、今回の参加者は、41人（男子9人、女子32人）でした。減少したのは、市内の小学校でインフルエンザが流行り始めたことが要因かと考えております。来年度は、上智大学側と開催時期を相談するとともに、応募方法についても考えたいと思っております。また、参加児童の状況としましては、昨年度は、51人中21人を4年生が占めましたが、今年度は、41人中29人を5年生が占めたことが特徴でありました。

参加者の特徴といたしまして、はじめはお互いに遠慮がちで、ALTが常に子どもたちに目を配りながら進めてくれたことで子どもたちも意欲的に取り組みました。昨年と違って、今年度は、5年生が多数を占めていたため、積極的にALTとコミュニケーション

ョンが取る姿が見受けられ、個人的に英語教室に通っている子どもが多くいるようでしたが、4年生も6年生も英語の力に、さほど差がないように思えました。

時間が経つと間違えたら恥ずかしいという感情がなくなり、一生懸命に話しかけてゲームに参加する姿が見え、上智大学生とのアクティビティは、相手が日本人で年齢も近いという安心感もあったのか、和やかにアクティビティが進行しました。

以上でございます。

望月委員長

今までコミュニケーションを取るまでに、時間が大変かかっていたものが、最近、大変早く取ることができるよう感じます。いかがでしょうか。

こども育成課長

早く溶け込んでいく子どもたちは多かったような感じがしましたのは、リピーターがいたことも関係しているのではないかなと思います。3分の1くらいがリピーターでした。

望月委員長

他市では、このような取り組みがないように聞いていますがいかがでしょうか。

こども育成課長

委員長のおっしゃるとおりでございます。ALTのコーディネーターは、この取り組みを他市にも紹介したいということで、親の承諾を得まして、ビデオを撮ったりしておりました。

望月委員長

大きな鍋などが用意されていましたが、準備はいかがでしたか。

こども育成課長

当日は、衆議院総選挙と日程が重なった関係で、半数の職員がそちらの従事に回りましたが何とか乗り切ることができました。

望月委員長

ほかにいいでしょうか。

—特になし—

望月委員長

それでは、「その他」はほかにまだありますか。

—特になし—

望月委員長

それでは、秘密会の前に、次回の日程調整をしたいと思います。

—次回の日程調整—

望月委員長

それでは、ただいまから秘密会をいたしますので、関係者以外の退席を求めます。

—関係者以外退席—

[削除]

望月委員長

以上で12月の定例教育委員会会議は終わります。